

住宅を長持ちさせるには、点検と修繕を行うことが不可欠です。部位ごとに適切な時期があるので、チェックしていきましょう。



◆外壁…約10年

外壁では目地に充填されているコーキング（シーリング）が、重要な役割を果たしています。ただ、紫外線や雨、気温差で劣化しやすいので、全体に切れや割れ、目地から剥がれ落ちている場合、早急に補修しましょう。外壁も、色あせや変色、ひび割れ、触ると白い粉が付くチョーキング現象がある場合、塗装しましょう。

◆屋根…10～15年

屋根材により耐用年数が異なりますが、10～15年を目安にメンテナンスを行うのが理想的です。スレート、セメント瓦、トタンには防水性を高める屋根塗装を、スレートなどにはカバー工法が適しています。放置すると雨漏りや構造体の腐食を招き、修理費用が高額になります。ひび割れや色あせなどの劣化サインを見つけたら専門家に相談しましょう。築20～30年経過した屋根や、下地が傷んでいる場合は葺き替えが必要となるので、高額な費用が必要となります。

◆その他にも…

5～10年…防蟻（シロアリ）処理、クロス張り替え。
10～15年…給湯器の交換、水回り設備（キッチン、浴室等）の交換。
15～20年…雨どい交換、フローリングの張り替え。
20～30年…給排水管の点検・交換、玄関ドアや窓の交換、畳の全面交換など。

年数はあくまで目安ですが、計画的な資金計画を立てるために、ライフサイクルに合わせた修繕スケジュールを把握しておきましょう。また、修繕する時に、省エネルギーやバリアフリー改修を行う場合、自治体から補助金が支給されることがあります。施工前に居住地域の制度を確認しましょう。

一生過ごすマイホーム、日頃から定期的な換気と水回りの清掃をし、ベランダや雨どいの排水詰まりに気を付けておきましょう。

たのしいこともLife

敬老の日に「写真のコラージュ」

敬老の日のプレゼントは、もう決まっていますか？ 今年は子供と一緒に、写真のコラージュを手作りしてみませんか。

◆毎日見ることができる

写真を集めたアルバムだと、棚にしまっただけですが、1枚に収められて、リビングに飾っておけるサイズのコラージュにすれば、毎日見られます。壁掛けタイプか、テーブルの上に置くタイプか、祖父母のライフスタイルを考えて決めましょう。メッセージや好きな絵などを描けるので、個性が出せます。

◆不器用さんでも達成感が生まれる！

まず写真を何枚か選び、台紙に置いて位置が決まったら貼りつけましょう。フレームは手作りでも、お手軽に市販品でも大丈夫です。デコレーションは、カラフルな飾りのテープやシール、メッセージ枠など、100均でも入手できるので、子供のアイデアを活かしながら飾りましょう。描くのが得意な子は、全て手描きにしてもいいですね。



作ることが苦手な子は、手作りすることに自信を持ってないことも多いのですが、市販のものを使うことで自分のイメージに近いものができ、自信が持てるかもしれません。

◆成長していく姿を写真とメッセージで伝えよう

メッセージは手書きにしましょう。よく、「おじいちゃんおばあちゃん、長生きしてね」というのを見かけます。すごく喜んでくれる祖父母の方も、もちろんいらっしゃるでしょうが、小学生の祖父母は、まだまだ元気な方が多いです。そのため、お孫さんの最近の様子が分かるメッセージの方がおすすめです。「〇〇のゲームにはまっているよ」「九九を覚えたいよ」「お正月に会おうね」などはいかがでしょう。普段話す言葉どおりがいいですよ。



2026年8月号 | 特集：家の中のダンボール整理



何でも入り、箱型で積み上げられ、緩衝役にもなる便利なダンボール箱。けれど、中身が見えないことで不用品の目隠しになっている場合も…。

◆家の中のダンボール

家の中にダンボールが何箱ありますか？ 普段使わないから…と、しまい込んで意外と溜まっているかもしれません。ダンボール収納も手軽で便利ですが、ダンボールに収納されていれば、とりあえず片付いているように見えるため、改めてその中身を見たり、出したりすることが億劫になりますよね。この機会にダンボールの中身を整理して、不要なダンボールを廃棄し、すっきりと風通しのいい生活空間を得ましょう。

◆ダンボールを保存するデメリット

- ・紙製のため、吸湿しやすくカビが発生してしまいがちです。そのカビが、収納した中のものにまで移ってしまいます。
- ・ダンボールは保温性もあるため、ダニやゴキブリの好む湿度と温度を整えてしまい、彼らの温床となってしまうこともあります。

※流通経路すべての環境は分かりません。いつどの段階で害虫の卵が産み付けられているかわからない為、家の中にあまり長く置いておいたくはないですね。

◆ダンボール断捨離の仕方

まずは、全てのダンボールを捨てるつもりで取り組むことが肝要です。家の中にあるダンボールの数と内容を把握したら、内容物に適した中身が見えるクリアケースなどの代替の収納用品を用意します。そしてその中に入る量だけに厳選して、家の中に残すものを選び、収納していきましょう。空いたダンボールは潰して、地域の資源回収ルールに沿って早めに捨てましょう。

- ・会社名 有限会社 山口建築工業
- ・提供できるもの 新築・リフォーム工事（省エネ健康住宅が得意です）
その他、解体工事などお家に関することは何でもお任せ！！
- ・モットー 人にやさしい健康住宅
- ・会社の場所 新潟県南魚沼市二日町88
- ・連絡先 電話 025-770-2369 Fax 025-770-0014
- ・ホームページ 山口建築工業 で検索！！

※山口建築工業では土地探し～敷地調査～プラン作成～お見積り～お悩み相談まで無料です！お気軽にご相談下さい。

今月も読んでくれて
ありがとう。
来月も一生懸命作り

